第九代　自衛隊熊本地方協力本部長

梼本（はしもと）　賦（みつぎ）　一等陸佐　着任

梼本本部長は十二月二十二日（火）付で、北海道は札幌の北部方面総監部から第九代自衛隊熊本地方協力本部長に着任されました。

梼本本部長は茨城県の出身で、これまで陸上幕僚監部教育訓練部制度班長、第七十一戦車連隊長、北部方面総監部総務部長等の陸上自衛隊における多種多様な要職を歴任されました。着任の辞においては、「今まさに防衛・警備の第一線である西部方面区の地方協力本部長として勤務できることを光栄に感じるとともに、身の引き締まる思いです。

地本を取り巻く環境は、少子化に伴う募集対象者人口の減少、厳しい雇用環境や退職隊員の今後の増加、災害派遣に伴う予備自衛官等の招集・訓練招集への雇用企業の理解の獲得、また、コロナ禍による地方協力本部が行う各種活動の制限等、非常に厳しい状況であると認識しています。

この厳しい環境の中においても、自衛隊熊本地方協力本部は、多くの優秀な隊員を募集し各方面隊にその人員を送り届け、退職に当たっては適切に再就職を援護して現役隊員の職務に邁進できる環境を確立し、また、予備自衛官等を確保して部隊活動の基盤を維持・増進する等、まさに自衛隊の人的基盤を支える業務を実施しています。更には、平成二十八年四月に発生した熊本地震や令和二年七月の九州豪雨においては、日ごろからの自治体等との良好な関係を生かして、部隊の災害派遣活動を支える活動も実施しました。

防衛省・自衛隊の人的基盤を支える地方協力本部の任務を完遂するため、職員の皆さんには、「挑戦」と「連携」を要望したいと思います。

「挑戦」についてですが、この厳しい環境の中で、募集、援護、予備自、渉外、広報の各任務を完遂するためには、今までの良いやり方は維持しつつ、現在の環境に適合した新たなやり方に挑戦して、具体的な方策を創造・実行し、これまで以上に任務を完遂していきたいと思います。

「連携」についてですが、日頃の募集、援護、予備自、渉外、広報の各任務を完遂するためには、自治体や学校等の関係者、関連企業の方々、地本の協力団体・協力者と密接に連携して、また、本部内の関係部署はより一層連携し業務を進める必要があります。このため、今まで以上に相手との良好な関係を構築・維持し、組織的に連携して業務を進めてもらいたいと思います。これは災害派遣等を支える業務においても同じであり、日ごろからの良好な関係を土台に、部隊活動を支えてもらいたいと思います。

最後に、厳しい環境の中での任務遂行になりますが、私自身「常に皆さんの先頭に立ち」、部務に邁進する所存でありますので、職員皆さんは、自衛隊の人的基盤を支える業務を遂行しているとの自覚と矜持をもって、ともに職務に邁進してもらいたいと思います。」と決意を述べられました。

部員一同は、梼本本部長のもと更なる団結、高い目標達成に向け挑戦し、心機一転、新たな気持ちで、関係者の方々と連携し全力で業務に取り組んで参ります。

（はしもと　みつぎ）
氏　名　梼本　賦
階　級　１等陸佐
出身地　茨城県
生年月日　昭和43年11月21日

平成	5年	3月　第２戦車大隊
	7年	3月　第２戦車連隊
	12年	8月　第１戦車大隊　中隊長
	13年	8月　幹部学校（学生）
	15年	8月　第５戦車大隊　中隊長
	16年	8月　第７師団司令部第３部
	17年	8月　中央資料隊付
	19年	8月　陸上幕僚監部人事部
	23年	4月　富士学校　主任教官
	25年	4月　陸上幕僚監部教育訓練部制度班長
	26年	8月　第71戦車連隊長
	28年	8月　陸上幕僚監部防衛部防衛課(兼)防衛政策局防衛政策課（内閣官房出向）
	30年	8月　北部方面総監部　総務部長

発　行　所
自衛隊熊本地方協力本部
〒860-0047
熊本県熊本市西区春日２丁目10番１号
熊本地方合同庁舎B棟３階
TEL 096-297-2053
熊本地本　検索
https://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/
熊本地本公式 HP　熊本地本公式 Twitter

お陰様で熊本地本Twitterフォロワー数

13,000人達成！！

次は，20,000人目指して

色々な情報等を逐次アップしていきますので、応援よろしくお願いします！

この度、自衛隊熊本地方協力本部水俣地域事務所は、水俣商工会議所２階の事務所からエコパーク水俣付近にある水俣港湾合同庁舎（２階）へ移転いたしました。

水俣地域事務所移転

住所：熊本県水俣市月浦字前田 54-165
電話：0966-63-5863

前本部長　仲西一佐　離任

12月22日（火）付で、第８代自衛隊熊本地方協力本部長仲西勝典１等陸佐は、陸将補に昇任され、第34代第１施設団長兼ねて第38代古河駐屯地司令として御栄転されました。

仲西本部長は、要望事項に「責務の完遂」と「和と風通し」を掲げ、令和元年８月23日（金）から令和２年12月22日（火）まで１年４か月勤務されました。

在任間は、統率方針「すべては実任務のために」の具現化に向け、各業務を計画的かつ効果的に推進し、厳しい所命任務の完遂を基礎として、地方協力本部業務全般における更なる成果獲得のため「組織力の最大限発揮」を図るとともに、防衛協力諸団体及び企業等各種団体との連携強化に努める等、目標達成に向けた効果的・効率的な施策を次々と打ち出されました。

特に、地本初となる団結歌「絆と共に」を着任後、直ちに作成し、団結の強化を図り、また、情報発信の強化に組織的に取り組み、新規ツイッターフォロワー約13,000人を獲得し、地本の各種活動等を部内外に広く広報される等、多大な功績を残されました。

離任式に際して、勤務に対する感謝と熊本地方協力本部の更なる発展を要望され、全部員の見送りを受け、熊本地方協力本部を後にされました。

【阿蘇】

新年のご挨拶

自衛隊熊本地方協力本部
本部長
一等陸佐
橋本　賦

明けましておめでとうございます。

令和三年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、自衛隊熊本地方協力本部に対し、皆様から格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響により各種行事等が中止となり、皆様には大変残念な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。また、令和二年七月豪雨に伴う災害派遣に際しては、皆様から多くの激励を賜り、心より感謝申し上げます。被災された方々には、改めまして哀心よりお見舞い申し上げます。自衛隊熊本地方協力本部として、自治体に対して迅速に連絡員を派遣するとともに、即応予備自衛官及び予備自衛官の災害派遣招集に的確に対応できましたのも、各自治体、雇用企業等を始め、地域の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。

本年は、昨年延期となりました東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定となっております。コロナ禍を克服した証として、この国家的行事が整斉円滑に実施されることを祈念しております。一方で、我が国を取り巻く安全保障環境は、冷戦後最も厳しい状況が継続しております。また、雇用情勢及び少子化に伴う募集対象者人口の減少等により、募集環境はより一層厳しさを増している状況です。

このような中、自衛隊が厳しい任務を完遂し、国家・国民の負託に応えていくためには、自衛隊の人的基盤を充実・強化し、部隊・隊員が任務に邁進できる環境を構築することが地方協力本部に与えられた重要な使命であると認識しております。

自衛隊熊本地方協力本部の昨年一年間の業務を振り返ると、募集業務においては、コロナ禍の影響で各種採用試験の日程の見直しや各種説明会等の中止・縮小等により、志願者の減少が危ぶまれましたが、平素からの広報官等による地道な募集活動に加え、臨時のサテライトブースの設置、ＷＥＢ説明会、女性限定座談会等の実施により、昨年を上回る志願者を獲得することができました。引き続き、家族会、募集相談員、協力諸団体等の協力を賜りながら、各学校、自治体等との連携を強化して、募集目標の達成に向け、全力を傾注して参ります。

就職援護業務においては、コロナ不況の影響により県内の有効求人倍率が著しく低下する中、隊員が後顧の憂いなく職務に邁進できる安定した環境を構築するため、万全の感染防止対策を講じた上で、県内に限定して合同企業説明会を実施した他、援護協力企業等との連携を強化して、更なる就職援護基盤の拡充を図っているところであります。

予備自衛官業務においては、災害派遣への招集及び招集訓練等に際して、雇用企業等の皆様から格別のご配慮を頂き、有り難うございます。引き続き、予備自衛官等の充実・強化に向け取り組んで参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

渉外広報業務においては、各種行事、イベント等が中止・縮小となる中、新型コロナウイルス感染状況を考慮しつつ、感染防止対策を万全にした上で、三自衛隊統一募集広報、艦艇広報、体験搭乗、職場見学ツアー、豊肥本線復興イベント支援等を限定的に実施しました。残念ながら、六月下旬に予定していた第二回じえいたいフェスタin熊本は、感染拡大防止の観点から中止せざるを得ませんでしたが、今年こそは開催できることを願っております。一方、情報発信において重視して取り組んでいる熊本地方協力本部のツイッターは、皆様のご協力のお陰でフォロワー数一万三千人を突破することができました。引き続き、二万人を目標に積極的かつ効果的な情報発信及び広報活動に尽力して参ります。

最後になりますが、自衛隊熊本地方協力本部と皆様の絆が今後益々強くなりますよう、そして、本年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい年になりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年のご挨拶

自衛隊熊本地方協力本部
後援会
会長
野々口弘基

あけましておめでとうございます。

後援会会員の皆様をはじめ、自衛隊熊本地方協力本部及び防衛協力諸団体の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は熊本地本後援会に対する格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、北朝鮮が核兵器の小型化・弾頭化を既に実現しているとみられるほか、攻撃態様の複雑化・多様化を執拗に追求し、攻撃能力の強化・向上を着実に図っており、引き続きその軍事動向は、我が国の安全に対する重大かつ差し迫った脅威のままでございます。また、中国においては、「世界一流の軍隊」とすることを目標に、透明性を欠いたまま継続的に高い水準で国防費を増加させ、核・ミサイル戦力や海上・航空戦力を中心に、軍事力の質・量を広範かつ急速に強化しており、南シナ海において軍事拠点化を進めるとともに、情報優越を確実に確保するための作戦遂行能力の強化を進めています。また、世界的大流行（パンデミック）となった新型コロナウイルス感染症は、我が国を含む国際社会の安全保障上の重大な脅威となりました。

一方、国内に目を向けますと、令和二年七月豪雨や台風等、各地で自然災害が発生し、要請に基づき自衛隊の皆様が現地に赴き、不眠不休で人命救助や災害復旧に尽力されている事はご承知のとおりでございます。このような状況の中、防衛省・自衛隊はその防衛力を最大限効果的に機能させるために人的基盤を充実・強化させることが極めて重要と考えているところでございます。その一翼となる自衛官等の募集業務を担う自衛隊熊本地方協力本部ですが、採用の上限年齢が引き上げられたとはいえ、募集環境は未だに少子化・過疎化に伴う対象者の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が継続していると聞いております。今後とも皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。最後になりましたが、自衛隊熊本地方協力本部の益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

自衛隊熊本地方協力本部 後援会役員紹介

副会長	阪本　孝博
同	副島　健史
顧問	梨子木和秀
同	小川　裕士
同	荅　和弘
理事	原　亨
同	南　博
相談役	井上　朋和
同	山下　高憲
同	川口　英徳
同	芹川　正信
会計	森山　澄江
監事	實田　逸夫
同	吉本　孝寿

新年のご挨拶

熊本県隊友会
会長　山下　髙憲

自衛隊熊本地方協力本部並びに関係の皆様におかれましては、ご家族共々穏やかで希望に満ちた令和三年の輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。私共、熊本県隊友会本部をはじめ各地域で活動しております隊友会の各支部が自衛隊熊本地方協力本部の皆様に一方ならぬご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

自衛隊熊本地方協力本部におかれましては、少子化・高学歴化、また新型コロナウイルスの蔓延に伴い、募集活動等も制限される厳しい環境の中、地方協力本部長の御統率のもと総力を挙げて自衛官候補生をはじめ、高等工科学校生徒、幹部候補生等の募集、また退職予定隊員の就職援護活動、予備自衛官教育等においても着実に成果を上げておられますことに心より敬意を表します。

さて、熊本県隊友会は現在五七の支部を構成し、地区単位で地域に密着して各種活動しております。自衛隊地方協力本部の募集活動等にも少なからず協力できると思っており、隊友会各支部との連携を引き続き図っていければと思っております。

新型コロナウイルス感染症による活動が制限される厳しい募集環境の中とは思いますが自衛隊熊本地方協力本部の更なる発展ご活躍また各種の目標を達成されますことを祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

熊本県隊友会
役員紹介

副会長　森崎　淳一
　　村上　隆英
　　森川　洋治
　　松原　和雄
　　竹本　康美
常任理事　源　秀光
　　坂本　恒雄
　　松浦　信久
　　吉川　輝之
　　永松　啓子
　　荅　和弘
　　中村　一志
　　田原　健一
　　甲斐　憲明
常任理事兼事務局長　實田　逸夫

熊本県防衛協会
青年部会
会長　吉本　孝寿

思いも寄らぬ試練を乗り越え平穏な日々が戻りますことを願いつつ、自衛隊熊本地方協力本部の皆様におかれましては、新年のご挨拶ならびにお見舞いを申し上げます。

令和二年七月三日、豪雨による熊本県人吉豪雨災害による球磨川などの氾濫で県南地域十一市町村の浸水面積が少なくとも計一五七五ヘクタールに上り、自治体別では、中心部が広く浸水した人吉市が最大で五一八ヘクタール。芦北町が四九二ヘクタールの甚大な災害となりました。活動人員は、延べ三四万人にのぼり、救出者数一七七五名懸命な救助作業を遂行された隊員の皆様及び、日々、隊員の募集、援護、渉外広報業務に対して活動される隊員の方々に対しては、尊敬と感謝しかありません。

昨年は、コロナ禍の中、自衛隊航空機体験搭乗をはじめ様々なイベントが中止となりましたが、本年は槇本本部長のもと、盛大に開催されることを祈念致します。

私共、熊本県防衛協会青年部は、本年も熊本地本団結歌のように会員一丸となって目標達成に邁進しますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

熊本県防衛協会青年部会
役員紹介

副会長　橋本　龍生
事務局長　津留　貴裕

自衛隊熊本
地方協力本部ＯＢ会
会長　阪本　孝博

新年明けましておめでとうございます。自衛隊熊本地方協力本部の皆様をはじめ、協力諸団体及びＯＢ会員の皆様に対し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年の七月の豪雨災害が発生し、その被災者の方々に対して心からのお見舞いを申し上げます。四年前の悲惨な熊本地震の記憶が蘇りましたが、毎年日本の各地で大きな自然災害が発生し年々苛烈の度を強める天の振る舞い、何故にこうもむごい仕打ちを繰り返すのか自然界の無慈悲を恨むばかりです。昨年は年明け早々から新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大し、人々は翻弄され今尚終息の兆しが見えないままで、感染者数は八千万人以上と言われています。政府は緊急事態宣言を発し、国民に対し不要不急の外出の自粛、三密を避けマスク着用の励行など新たな生活様式の定着を求めました。各種行事やイベントは軒並み中止になり、昨年実施予定だったオリンピックさえも延期となりました。企業活動は停滞し倒産や失業者が増加して、経済基盤も地球規模で低迷し長期化が予見されます。医療従事者の方々の献身的な努力によって医療崩壊は踏み止まっているものの、クラスター・パンデミック・オーバーシュート・ロックダウンなど聞き慣れない言葉の氾濫、猛威を振るうウイルスとの消耗戦はいつまで続くのやら、現代社会の新たな脅威への医療的脆弱性には愕然としておりますが、いっそのこと天草が発祥の疫病の神「アマビエ」様にでも祈願してはと思わないでもありません。国力伸張の著しい中国はコロナ危機においても軍備を増強し、自由・人権、法の支配などの価値観を軽視し、我が国に対しても尖閣諸島の接続水域内で公船を恒常的に行動させて領有権を主張し、また、いつまで経っても拉致問題は未解決のままで核・ミサイル開発に余念の無い北朝鮮など、東アジア地域の安全保障環境の脅威は増すばかりでございます。

我が国の安全保障体制をこのまま漫然と継続して良いものか。我が国と同盟関係にある米国へ大きく依存する我が国の安全保障体制と、危機管理規定を欠く現在の憲法の下で、専守防衛を国是とする国の守りに問題は無いのでしょうか。世界第三位の経済力を持ちながら災害大国でもある我が国は世界情勢の冷徹さを見定め、経済・少子高齢化・教育問題のみならず憲法改正や防衛のあり方などに対しても、空疎な審議を避け不十分な弥縫策を繰り返すことなく果断に論議し、活力ある未来を子供達に残すべきではないでしょうか。

自衛隊熊本地方協力本部では、隊員の皆様が地方協力本部長の指揮の下、募集・援護・予備自業務を真摯に取り組み、新型コロナウイルスで厳しく困難な環境下にあっても、前年並の受験者数を確保されるなどその奮闘ぶりには心から敬意を表しますとともに、今後の成果に期待を致しております。

熊本地本ＯＢ会は発足後四十年が経過しました。現職隊員の皆様方が退官後はＯＢ会へ入会をして頂き、心強く大いに感謝を致しております。今後とも自衛隊熊本地方協力本部の充実発展のために、業務及び隊員の支援を行い支えて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

自衛隊熊本地方協力本部をはじめ協力諸団体及びＯＢ会員の皆様方の、今後益々のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶と致します。

自衛隊熊本地方協力本部
ＯＢ会役員紹介

副会長　赤星　朝久
　　源　秀光
　　清水　裕美
事務局長　両角順一郎

熊本県
自衛隊家族会
会長　井上　朋和

新年あけましておめでとうございます。

自衛隊熊本地方協力本部並びに熊本県自衛隊家族会の皆様におかれましては、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

昨年は未知なる感染症に日本全土の健康な生活と自由な経済活動が根底から脅かされ、その一方で自然災害も止まるところを知らず、私が居住する人吉・球磨地区は「令和二年七月豪雨」によって甚大な被害を受けました。そうした中にあって、自衛隊の力強い献身的な活動は何よりも心強く、その頼もしさは何物にも代えがたいと強く感じた次第です。

私たち自衛隊家族会は、隊員に最も身近な存在として自衛隊を支えていくことを信条としております。平成二十八年の熊本地震におきましては、一部の会員をもって隊員家族の安否確認や隊員家族の激励を行いました。周辺の安全保障環境も厳しさを増す中、自衛隊が幅広い任務において力を発揮するためは、こうした活動がより重要なものになると考えております。これからも自衛隊としっかりと連携を保ち、その役割を果たせるよう頑張りたいと思います。

槇本本部長をはじめとする自衛隊熊本地方協力本部の皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈りしつつ、自衛隊と関係諸団体の絆が一層強固になることを祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

熊本県自衛隊家族会
役員紹介

副会長　野口　末治
　　村山　政廣
　　濱端　正之
　　森山喜美子
事務局長　光永　邦保

各課・各所より新年のご挨拶を申し上げます！

募集課

総務課

副本部長

熊本分駐所・募集案内所

渉外広報室

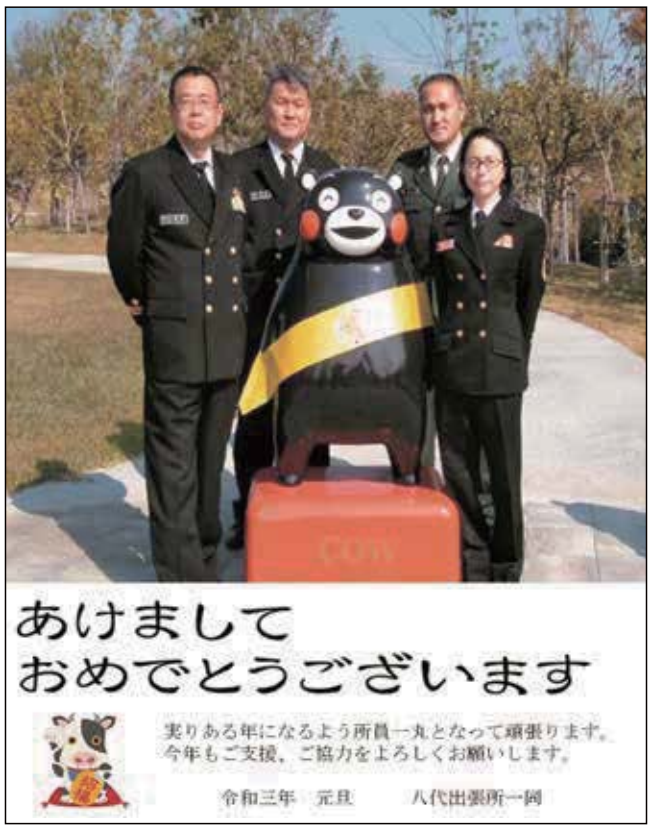
援護課

山鹿地域事務所

玉名地域事務所

宇城募集案内所

水俣地域事務所



八代出張所

菊池分駐所

阿蘇地域事務所

天草駐在員事務所

人吉地域事務所

８月着任の所長及び渉外室長の挨拶

人吉地域事務所長
３等陸佐　**赤松　勝哉**

所長勤務は広島地本福山所以来、２回目となります。所長勤務の経験及び昨年７月人吉・球磨地区の豪雨災害を踏まえ、地域事務所の方針を「あと味のよい募集」「地域とともに」とし、「志願者ファースト」の精神で広報官、リクルータ、募集相談員及び家族会員等と一致団結、「日本一の地域事務所」を目標に全力を尽くします

水俣地域事務所長
１等海尉　**中村　賢紀**

募集業務は初となりますが、国防の最前線の非常に重要な任務であると認識しています。広報官や本部との連携を密にし、地域との良好な関係を構築・維持しながら、募集目標を達成できるよう尽力していきます。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

渉外広報室長
１等陸尉　**緒方　公一**

この夏の定期異動で第14普通科連隊本部から渉外広報室長として着任しました。地方協力本部における勤務は初めてでありますが、初心に返り、各協力諸団体等の皆様への活動支援、各種広報活動等を通じて、国民の皆様に自衛隊に対するご理解とご協力を頂けるよう努めてまいります。皆様方の変わらぬご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

年男・年女　今年の抱負

援護課 期間業務隊員　**緒方　あゆみ**

明けましておめでとうございます。蔵の財より身の財、身の財より心の財第一なりと偉人が言われています。心豊かに過ごしていけるように、日々努力します

熊本募集案内所 空曹長　**林　謙一**

募集の呼吸
四拾八ノ型
目標達成！公私充実！
年男の１年も全集中で
頑張ります！

援護課　２等海曹　**潮田　真一**

明けましておめでとうございます。牛のようにゆっくりと、でも確実な歩みで熊本地本の成果に向けて努力を重ねる年にしたいと思います！

健軍駐屯地援護室長 ２等陸尉　**牧寺　信也**

明けましておめでとうございます。自衛官として最後の年男、丑のようにどっしり構え、大切な家族を背中に乗せて、仕事と趣味の調和を図り、力強く前進したいと思います。

熊本募集案内所 １等空曹　**新川　弘満**

早いもので４回目の年男を迎えることとなりました。無事にこの年を迎えられたことに感謝し、新規一転　新たな決意をもって猪突猛進して参ります！

募集課 １等陸曹　**坂之下　節子**

丑年女性は穏やかで包容力があり、粘り強く周囲の雑音を気にしないほどの精神力を持つ特徴があるそうです。４回目の年女を前にして知り得た豆知識ですが、包容力・精神力を意識した言動を心掛ける年にしたいです。

宇城募集案内所 陸曹長　**中崎　正明**

４度目の年男を迎える事が出来ました。これも皆様の協力、ご指導のおかげと感謝しています。今年も感謝の気持ちを忘れず頑張ります。引き続きご指導のほど宜しくお願い致します。

水俣地域事務所 ２等陸曹　**藤原　勝**

今年で36歳となり３回目の年男を迎えるわけですが正直、あっという間…
１日１日を無駄にせず公私共に充実した１年を過ごすために日々努力していきたいと思います。

渉外広報室　事務官　**福島　美樹**

明けましておめでとうございます。早いもので３度目の年女となりました。これからも健康第一で自分らしく１年を大切に過ごしていきたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

感謝状贈呈式

令和二年十一月二十七日（金）熊本市内のホテルにおいて感謝状贈呈式を実施しました。例年であれば、熊本地方協力本部創立記念行事に併せて行っていたところ、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小し、感謝状贈呈式のみの実施に変更しました。

本贈呈式では、本部長感謝状として、熊本地本の業務推進に多大な貢献を頂いた自治体、学校、企業等十九団体と個人十六名を選考させて頂き、当日参加された協力者に対して感謝状を贈呈しました。

また、式典に併せて、防衛大臣感謝状受章三社、陸上幕僚長感謝状受章一社への代理伝達を行い、本部長から謝辞として「皆様の平素からのご支援、ご協力に御礼と感謝を申し上げます。

自衛隊熊本地方協力本部は、今後とも関係各位との連携を強化し、人的基盤の充実・強化という地方協力本部の使命を自覚し、全身全霊で任務を完遂していきます。」と述べました。

引き続き、熊本地方協力本部は、皆さまのご理解・ご協力をいただきながら、国民と自衛隊の懸け橋として、全力で職務に邁進していく所存です。

防衛大臣感謝状受章者紹介

一　自衛官募集功労
　菊池市　殿
　御船町　殿
二　就職援護功労
　ALSOK熊本株式会社　殿
　一般財団法人
　　九州電気保安協会熊本支部　殿
三　予備自衛官等雇用功労
　有限会社松坂鉄筋工業　殿

陸上幕僚長感謝状受章者紹介

就職援護功労
　株式会社キューネット　殿
　日本赤十字社熊本健康
　　管理センター　殿

本部長感謝状受章者紹介（五十音順）

一　一般功労
　安藤　勝二　様
　井　　健二　様
　池部　哲博　様
　井上眞知子　様
　大谷　　壽　様
　鹿田　勝宏　様
　谷﨑　洋子　様
　田山　種彦　様
　中村　一志　様
　松本　邦昭　様
　宮川　陽子　様
　村上　菊乃　様
　森山　澄江　様
　山下　武寿　様

二　自衛官募集功労
　天草市　殿
　山都町　殿
　南阿蘇村　殿
　天草工業高等学校　殿
　大津高等学校　殿
　小川工業高等学校　殿

　鹿本高等学校　殿
　九州学院高等学校　殿
　秀岳館高等学校　殿
　東海大学付属熊本
　　星翔高等学校　殿
　齋藤　寛喜　様
　竹内　量司　様

三　就職援護功労
　株式会社ウチダ・フォーラム　殿
　株式会社永野商店　殿
　株式会社西川印刷　殿
　西日本高速道路サービス九州
　　株式会社　熊本支店　殿
　日本郵便輸送株式会社
　　九州支社　殿

四　予備自衛官等雇用功労
　ＩＧＫ株式会社　殿
　熊本交通運輸株式会社　殿
　社会福祉法人　慈雄会　殿
　株式会社　中川組　殿

熊本地震からの復興イベント
“豊肥本線全線開通記念 みんなでつながるカレーフェスタ”

令和２年11月15日（日）、JR九州主催の「阿蘇駅みんなでつながるカレーフェスタ2020」を部隊とともに支援しました。

本フェスタは熊本地震で大きな被害を受け、運休していたJR豊肥本線（熊本～大分間）の全線開通を記念し、「復興と地域の活性化」を目的として開催されました。自衛隊からは第４師団（第41普通科連隊）、第８師団（第42即応機動連隊、第８音楽隊）、自衛隊熊本地方協力本部及び自衛隊大分地方協力本部が参加し、自衛隊カレーの作成、装備品の展示、音楽演奏及び募集広報ブースを運営するとともに、JR九州とコラボした当日限定のオリジナル缶バッジの作製体験コーナーを開設し、同フェスタを支援しました。

2016年４月に発生した熊本地震後、熊本県は県民一丸となって、着実に復興の歩みを進めており、昨年４月に熊本のシンボルである熊本城に特別見学通路が完成し、６月からは一般公開されました。また、春には、天守閣が完全復旧し、内部が公開される予定です。また、阿蘇地区では10月に国道57号線の通行が再開され、地震で崩落した阿蘇大橋も「新阿蘇大橋」として開通が予定されています。本フェスタもその歩みの一つである「JR豊肥本線の全線開通」を記念したものであり、JR九州が震災後に始めた阿蘇地区での「お米や野菜作り」で収穫した食材に熊本・大分両県特産の牛肉を加えたカレーの調理を自衛隊が支援しました。第８師団が「あか牛カレー」、第４師団が「豊後牛カレー」をそれぞれ調理し、JR九州が来場者に無料で配布しました。

新型コロナウイルス感染防止対策として入場制限、検温等の処置、会場内での飲食禁止、テイクアウトのみとするなど、万全の対策を講じた当日は、天候にも恵まれ、澄み切った青空の下、同鉄道の復旧を心待ちにしていた両県から約2,500名の方の来場があり、イベントは大盛況となり入場待ちエリアは長蛇の列となりました。

JR九州が用意した600食の「自衛隊カレー」は開場後、１時間でなくなり、オリジナル缶バッジにも終日、多くの方が列をなし大人気でした。来場者からは「熊本地震では自衛隊に助けてもらった。」「避難所で自衛隊のお風呂に入らせていただき、助かりました。」など、多くの感謝の言葉と激励を頂きました。

自衛隊熊本地方協力本部は、引き続き、地域と一体となった活動に努めるとともに、地域との懸け橋として、部員一同努めて参ります。

雇用企業様の声

企業名：株式会社
　　エコ・ステーション
役　職：代表取締役
氏　名：久末　博義

１．企業の概要および事業内容等

弊社は、電気工事業、情報通信事業、太陽光発電事業の販売及び設計・施行・保守を本業としまして、熊本に本社を置き福岡、宮崎に拠点を設け三拠点で九州地区をエリアマーケットして営業展開している企業でございます。

特にハウスメーカー様との取引が深く新築宅内電気工事、ZEH、HEMS等の提案型の電気工事、蓄電システム、EVスタンド、オール電化、空調システム、照明設備等のエコ関連工事を積極的に進めております。また、アパート・マンションや事務所、商店、商業施設、公共施設、老健施設等の大型電気工事も意欲的に行っております。

太陽光発電事業につきましては、住宅用・産業用太陽光発電システムの販売及び設計・施行・保守、並行して太陽電池取付架台の設計・製作等も行っております。

情報通信事業につきましては、ネットワーク設備の構築、ネットワーク機器、電話交換機、防犯システム、音響設備、共聴設備、ナースコールシステムの取付設置工事など、情報通信分野に於いても積極果敢に営業を推進しております。

また、“電気と通信の融合”を社員全員が「使命感」と肝に銘じ、九州では数少ない特徴と独自性を兼ね備えた企業であります。弊社としまして“電気と通信”の両輪を前面に押し出し、弊社の強みとする特殊性と技術力をもって熊本そして九州地区で大きく前進して参りたいと考えます。

２．退職自衛官の採用理由

企業の永続的繁栄は社員の笑顔に掛かっていると言っても過言では有りません。社員の幸せな笑顔が家族をそしてすべての取引先にも幸せと繁栄をもたらす事になります。そういう意味に於いて幸せを実践する為に、任期制自衛官の採用は必要不可欠だと考えます。採用理由については下記のとおりです。

・国に対する国防意識に長け責任感と使命感を共有し、任務の重要性を十分理解され実践されている
・体力、精神力、忍耐力に於いて秀でている
・技術力や各種専門資格を積極的に取得されている
・礼と節、挨拶等が備わって、服装、身だしなみが洗練されている

３．退職自衛官の職務内容および勤務の様子

電気工事業と太陽光発電事業に勤務しております。電気工事の中でも主に新築宅内電気工事に携わっており、一人の技術者は、大手ハウスメーカーの新築電気工事を担当し、エンジニアとして然る事ながら工事責任者としてまた役職社員として他社員の先頭に立って活躍しております。一方、太陽光発電事業に携わっている技術者は、まだ社歴と経験が短い為、目下猛勉強中であります。何れにしましても、みな目的意識をもって夢実現に向け努力精進致しております。将来の大いなる活躍を期待してやみません。